

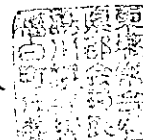
収受年月日	議 長	事務局長	書 記
7・6・3			
第 19 号			

令和7年6月3日

埴町議会議長 鈴木 孝則 様



経済常任委員会委員長 鈴木 元 久



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 調査事件

デマンド交通の状況と今後の取り組みについて

2 調査の経緯

本委員会は、デマンド交通の状況と今後の取り組みについて、担当課からの聞き取り調査を行った。

調 査 日：令和7年5月9日（金）

出 席 委 員：鈴木元久、金澤太郎、吉田広明、七宮広樹、小林達信、下重義人

説 明 員：埴町地域公共交通活性化協議会会長（副町長）、まち振興課長、
課長補佐兼商工観光係長、地域づくり係長

職務出席者：議会事務局長、書記

場 所：委員会室

3 調査の結果

令和6年度に公共交通空白地区である田代区において、車を運転しない・できない、バスなどの交通機関が利用しにくい区民の生活をサポートするため、原則60歳以上の皆さんを対象に小規模需要対応交通（デマンド交通）の実証運行を行った。

このデマンド交通は、自宅と大字埴地区の区間の移動にのみ運行する無料のサービスである。車は役場公用車（軽自動車）を使用し1台1～3名乗車可能。運転はシルバー人材センターの皆さんが努めている。

田代地区の実証実験は令和6年7月8日から週2回運行対象区民55名（障がい者含む）で5ヶ月間実施した。運行区間での乗降は埴厚生病院53.8%、

磐城塙駅 23%、以下塙町役場、塙郵便局、商店街、道の駅はなわの順となった。運転手1名委託、支出は燃料代、人件費、郵便代合計235,703円で、利用者に好評で有益な結果が出たとの説明を受けた。

令和7年度の予定では、運行期間が令和7年4月25日から令和8年3月31日まで実施する。各地区で順次説明会を開催し、実証運行は6月に田代地区の田野作区・山形区、7月は那倉区、8月は片貝地区の木野反区・湯岐区、9月は片貝地区の折籠区・矢塚区、10月は那倉地区の大蔵区、11月は高城地区の真名畑区と出戸地区の出戸・東河内2区で実施する。対象者は原則60歳以上の山間部居住区民、運行日は月曜日から金曜日の週5日運行、回数は1日4便、時間は午前8時30分から午後4時30分、使用車両は公用車（軽自動車）2台、経費は280万円の予算を計上していると報告を受けた。

なお、対象区域を広げることで、対象人数（700人）によっては収拾がつかなくなる恐れがあるので、利用状況を良く確認し、運行車両や回数を見直すなど十分検討するとの報告も受けた。

今後は公共交通企業との協議を踏まえ、デマンド交通における効率性の向上を図ることにより、輸送効率を高め、本格実行の実現に向けて期待したいと考える。

4 委員報告書

別紙のとおり

收受年月日	議員長	事務局長	書記
7・5・9	議員 委員	派遣 委員	調査
第 号			

様式 1

調査研修等報告書

令和 7 年 5 月 9 日

議会議長
常任委員長

鈴木元久

様



提出者 小林達信

派遣目的 (調査等 名称)	デモント交通の状況と今後の取り組みについて		
派遣の 日時	令和7年5月9日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	説明委員の説明		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	大変良く分かった。		

収受年月日	委員長	事務局長	書記
7・5・16	議 員 派 遣 調 査	調 査 研 修 等 報 告 書	調 査 研 修 等 報 告 書
第 号			

様式 1

令和 7 年 5 月 1 6 日

鈴木孝則 議会 議長
鈴木元久 経済 常任 委員長

様



提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 7 年 5 月 9 日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	1、デマンド交通の現状と今後の取り組みについて		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	現状、単身老人世帯や高齢化が進む中で、公共交通の利便性が不足している地域では、交通弱者が増えている。対策として公共団体による支援環境整備が進められている。当町は広範囲な地区を抱えており、福島交通もあるが、人員不足や補助金の増加の課題を抱えている。予約によるデマンド交通・田代地区実証実験が令和 6 年 7 月 8 日から、週 2 日運行、対象区民 55 名（障害者含む）で 5 ヶ月間進められた。運行区間での乗降は、塙厚生病院 53.8%、磐城塙駅 23%、役場・塙郵便局・商店街・道の駅となっていた。軽自動車（町公用車）を使用、運転手に塙町シルバー人材センター 1 名委託、支出は燃料代 19,478 円・人件費 175,768 円・郵便代 40,498 円、合計 235,703 円であった。車両の償却維持費は含まれてはいないが、少額費用で済んだと思われる。結果は利用者にも好評で、有益な結果が出たとの説明を受ける。令和 7 年 4 月から田代地区・那倉地区・片貝地区・東河内地区・高城地区での実証運行も予定されている。しかし、実証実験終了後に本格的な運用になった場合、国（国交省）から上限 500 百万円の補助（限度超過 3 分の 2 補助）はあるが、有償料金の目安はタクシーの半額くらいの設定になる話も出たが、350～400 円を想定している。本格稼働をしていった場合、維持費を含む収支には不安が残るが随時修正をしていくとのことである。補助金 500 万上限ではどうすることもできない。新たな補助金を模索して欲しい。		

収受年月日	委員	事務局長	書記
7・5・20			
第 号			

様式 1

経済常任委員会所管事務調査報告書

議会議長
委員長 様

令和 7 年 5 月 20 日



提出者 下 重 義 人

派遣目的 (調査等名称)	経済常任委員会		
派遣の日時	令和 7 年 5 月 9 日 (金) 午前 10 時～	派遣先 (場所)	役場委員会室
内 容	デマンド交通の状況と今後の取り組みについて		
派遣結果 (意見及び感想)	埴町デマンド交通実証運行事業内容について、まち振興課（地域づくり係）から説明を受けた。利用者は事前に登録及び申請が必要で原則 60 歳以上の方が利用可となる。但し特定条件により運転免許証を所持していない者（学生は対象外）・身体の障がい等により移動が困難な者・生活保護受給等の生活困窮世帯の者など協議会が認めた方は 60 歳未満であっても利用可となる。利用方法は事前登録を行い乗車する際は、事前予約（利用日の前日午後 3 時までにまち振興課へ）が必要となる。利用目的・箇所は、大半が埴厚生病院との説明であった。 今後のデマンド交通実証運行スケジュールは現在田代地区 7 月以降那倉地区、片貝地区、11 月頃高城、出戸地区と予定をしているが対象人数によっては収拾がつかなくなる恐れが発生した場合は運行車両数や運行回数の見直しなどを十分に検討を含め、その結果によっては安全性を考慮してスケジュールどおりにいかない場合もあるとの説明であった。今までのデマンド交通実証運行状況を見ると令和 4 年度の小型バスでは自宅の玄関で乗降できないなどの理由から利用者の少なさ、一方令和 6 年度の実証運行では、利用者が 53 人と増加した。理由の一つは小回りが出来る軽自動		



車での送迎であったため自宅前までの利便性のよさ(ドア・ツー・ドア)が大きな要因ではなかったのではと思う。今後は公共交通企業との協議を踏まえデマンド交通における高率性の向上を図ることにより輸送効率を高めて実現に向けて期待したいと考える。

収受年月日	委員長	事務局長	書記
7.5.23	議員派遣	委員派遣	調査研修等報告書
第 号			

様式 1

令和 7 年 5 月 2 3 日

議会議長

委員会委員長

様



提出者 金澤 太郎

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 7 年 5 月 9 日 10 時 00 分より	派遣先 (場所)	委員会室
内容	デマンド交通の状況と今後の取り組みについて		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	令和 6 年度のデマンド交通実証実験の結果と、令和 7 年度のデマンド交		
	通のエリア拡大と実証手順について説明を受ける。		
	令和 6 年度の結果から、対象の 3 割程度の方が利用された。		
	令和 7 年度は 5 地域に拡大し、週 2 日だったものを、月曜から金曜の		
	5 日間にするとともに、対象エリアも 5 地区に拡大して実証すると説明を		
	受けたが、対象となる人数が 700 名を超え、この 3 割の方が利用されると		
	2 台体制での対応が厳しくなるのではないかと。車両不足になる場合の追加		
	確保台数はもう 1 台が限界とのことだが、台数不足でせつかくの実証実験		
	がとん挫することの無いよう人員・車両を必要に応じて手立てをする必要		
	があると思う。		
営業運転となれば有料化、2 種免許等の問題が出てくるが、高齢者の			
交通事故が増加の一途にある中で、免許返納のきっかけとなれるくらい			

埴町議会



の利便性向上が図れる仕組みづくりという側面もあると思うので、引き続き実証を
行い、早期に埴町としての公共交通を補完するシステムの構築につながるよう、
しっかりと取り組んでもらいたい。

以上



收受年月日	委員長	事務局長	書記
7・5・26			議員派遣・委員派遣
第 号			所管事務調査報告書

令和7年5月26日

経済常任委員会
鈴木元久 委員長 様

提出者 七宮広樹 

派遣目的 (調査等名称)	経済常任委員会		
派遣の日時	令和7年5月9日(金)	派遣先 (場所)	委員会室
内 容	デマンド交通の状況と今後の取り組みについて		
派遣結果 (意見及び感想)	まち振興課より、デマンド交通実証実験の経緯と、令和6年度の状況、令和7年度の計画の説明を受けた。 今まで行なってきた各地域の実証実験で得た教訓から、塙町にマッチしたデマンド交通システムの構築が確実に進められている事を確認した。 今後の実証実験後、本格運行に向けて塙町の広域地をどのような料金体系にして行くのか、また改めてニーズ調査など課題も山積しているが、本格運行開始の年を明確に設定し、準備を進めるべきと思う。 また、利用者の目的地として塙厚生病院が多く、本格運行時には塙厚生病院とタイアップするなど、事業の支援に協力を願う協議も必要と思う。		